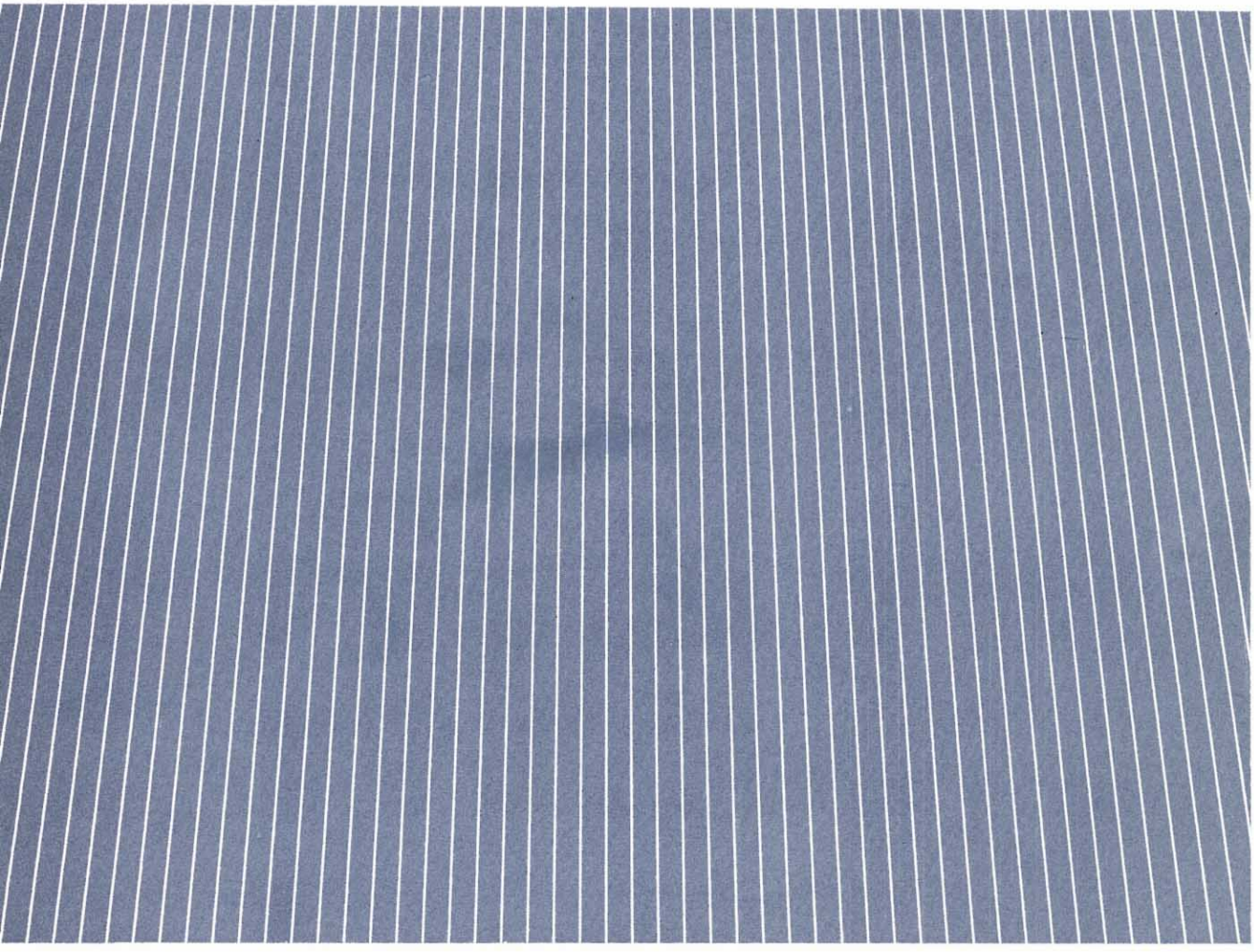
CELICA

コンバーチブル



取　扱　書

よくお読みになってご使用ください。 取扱書は車の中に保管しましょう。

このたびはトヨタ車をお買いあげいただきありがとうございます。

車は万一取り扱いを誤ると
故障や事故の原因になります。
ご使用前に本書を必ずお読みください。

- 本書は、セリカ コンバーチブル車独自の装備に関し、正しい取り扱い方法について説明していますので、ぜひご一読ください。
- とくに

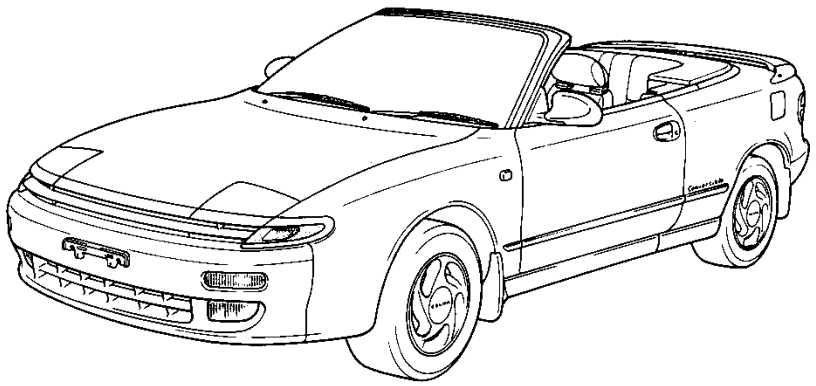


および


は、しっかりとお読みください。

- 本書以外の取り扱いは、トヨタ セリカ取扱書をご覧ください。

※車をゆずられる場合、次のオーナーのために本書を車につけておいてください。

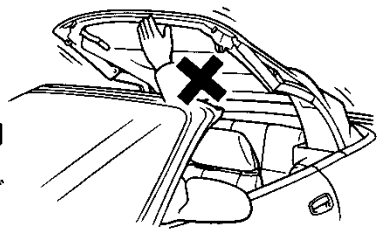


無断複製禁止

目　次 CONTENTS

コンバーチブルパワートップ(幌)の取り扱い	2
オーディオの使い方	8
専用装備の使い方	18
車の手入れ	20
装備一覧表	21

コンバーチブルパワートップ(幌)の取り扱い注意事項



1．幌の開閉作動中に、幌機構部や作動部付近（サイドルーフレールおよびリンク）へは絶対に手をいれないでください。

2．開閉操作前に、幌およびリヤシート背もたれとトランクの間に物が置かれていないことを確認してください。小さな物でも開閉操作に支障をきたし、故障の原因となります。

3．幌を半開閉状態のまま走行することは絶対に行わないでください。

4．気温が5℃以下のときは、幌の操作をしないでください。幌地が傷むおそれがあります。

5．開けるときは幌の上に水がないことを確認してください。幌表面の水が車内に落ちてくることがあります。

6．自動洗車機、高圧洗車機は使用しないでください。幌およびリヤウインドウを破損するおそれがあります。

7．リヤウインドウがよごれているときに幌を操作しないでください。リヤウインドウを傷つけるおそれがあります。

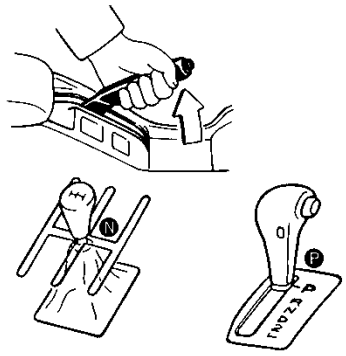
無断複製禁止

コンバーチブルパワートップ(幌)

幌の開け方

幌を開く前に(準備)

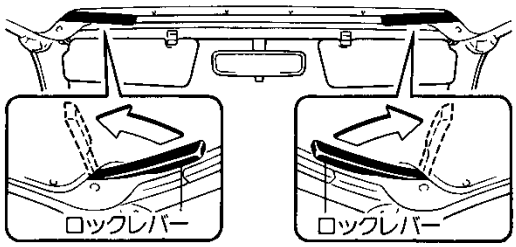
1. パーキング(駐車)ブレーキをかけ、チェンジレバーをオートマチックトランスミッション車は❾、マニュアルトランスミッション車は❽の位置にします。



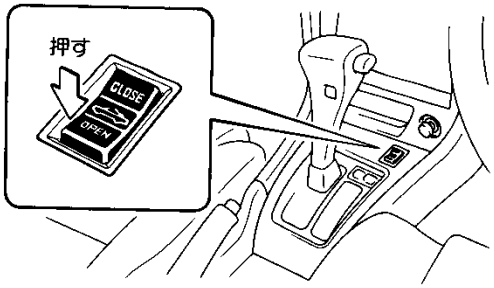
2. エンジンをかけます。
3. フロントドアウインドゥを下げます。
4. リヤサイドウインドゥを下げます。⇨18ページの「**パワー(電動)リヤサイドウインドゥ**」を参照してください。

幌の開け方

1. 左右のサンバイザーを下げます。
2. ロックレバー（左右2カ所）を引き、ロックを解除します。



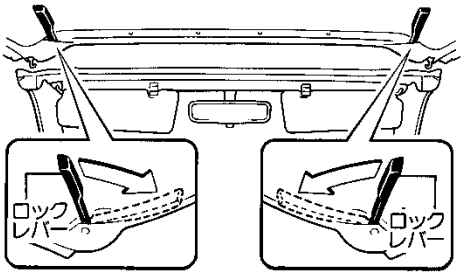
3. スイッチのＯＰＥＮ側を押すと幌が開きます。スイッチから手を離すと停止します。




ちょっと一言

スイッチを押しても幌が作動しないときは、油圧ポンプのレバーが**電動**側になっていることを確認してください。⇨６ページの「**スイッチを押しても作動しないときは**」を参照してください。

4. 幌が20cmぐらい開いたら、ロックレバーをもどします。




注意！

ロックレバーを完全にもどさずに幌を収納すると、レバーで幌が傷つくことがあります。

5. 幌が完全に開いたらスイッチから手を離します。
6. サンバイザーをもどします。

無断複製禁止

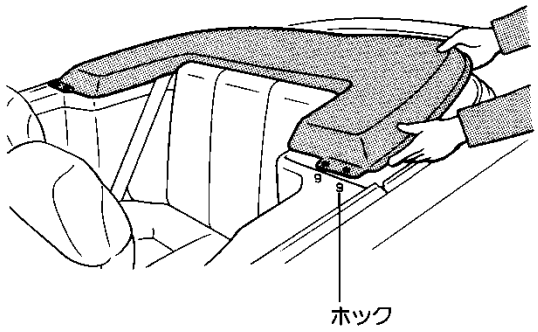
幌を開いたときは(幌カバーの取りつけ方)

1. トランクから幌カバーを取り出します。

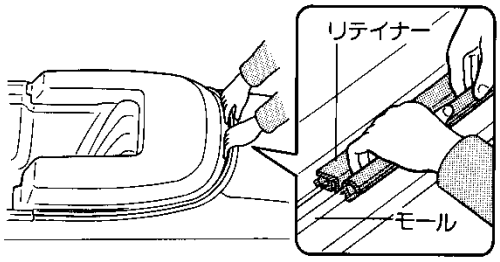


幌が完全に開いていないと幌カバーを取りつけることができません。

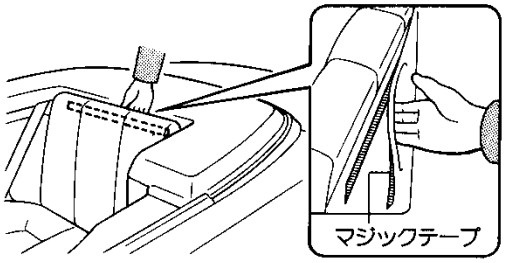
2. 幌カバーを、車両についているホックに固定します。



3. 幌カバーのリテイナーを車両のモールに確実にはめ込みます。



4. 幌カバーのマジックテープをリヤシートの背もたれに押さえつけて固定します。

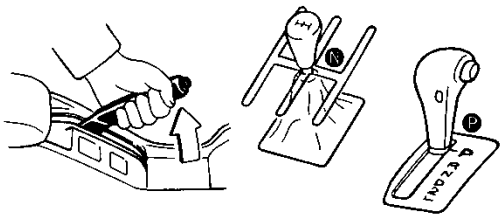


無断複製禁止

幌の閉じ方

幌を閉じる前に(準備)

1. パーキング(駐車)ブレーキをかけ、チェンジレバーをオートマチックトランスミッション車は Ⓟ、マニュアルトランスミッション車はⓃの位置にします。

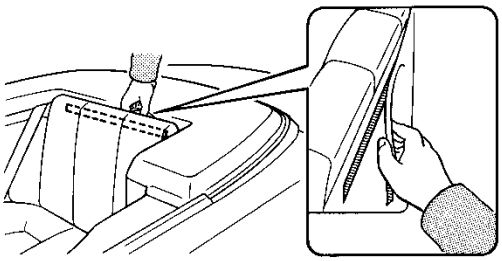


2. エンジンをかけます。

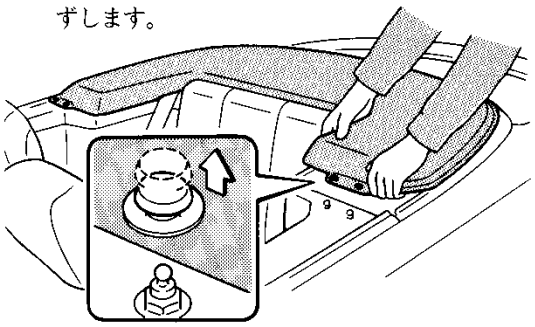
3. フロントドアウインドゥを下げます。

4. リヤサイドウインドゥを下げます。⇨18ページの「**パワー(電動)リヤサイドウインドゥ**」を参照してください。

5. 幌カバーのマジックテープをリヤシートの背もたれからはがします。



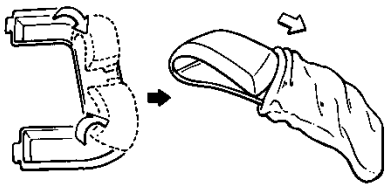
6. 幌カバーをホックからはずし、カバーを取りはずします。





ちょっと一言

はずした幌カバーは折りたたんで収納袋に入れ、トランクに収納してください。

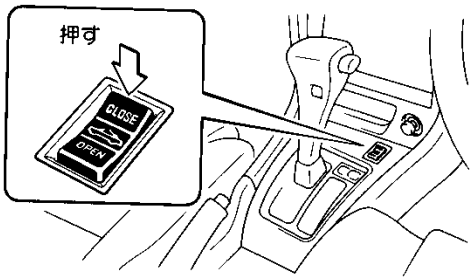


無断複製禁止

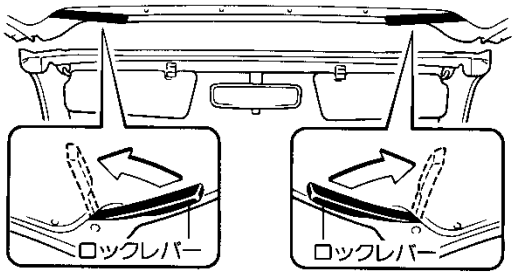
幌の閉じ方

1. 左右のサンバイザーを下げます。

2. スイッチのＣＬＯＳＥ側を押すと幌が閉じます。スイッチから手を離すと停止します。

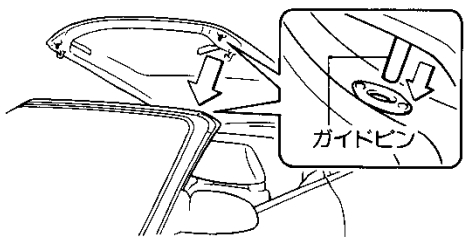


3. 幌が20cmぐらいまで閉じたら、ロックレバーを引き出します。

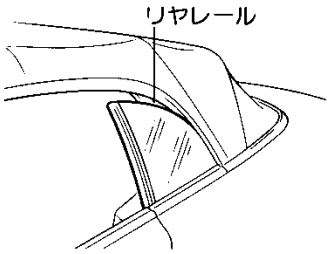


ちょっと一言
スイッチを押しても幌が作動しないときは、油圧ポンプのレバーが**電動側**になっていることを確認してください。
⇨６ページの「**スイッチを押しても作動しないときは**」を参照してください。

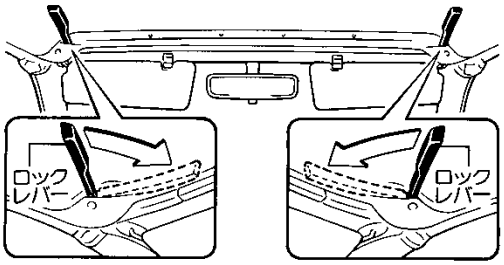
4. 幌前部についているガイドピン（左右２カ所）がフロントウインドゥガラス上部の穴にはいったらスイッチから手を離します。



ちょっと一言
フロントドアウインドゥ、リヤサイドウインドゥが完全に下がっていないときに幌を閉めると、ウインドゥガラスが幌のリヤレールにはいらないことがあります。この場合は、一度ウインドゥガラスをいっぱい下げてから上げるとリヤレールにはいります。



5. ロックレバーで幌の前部を引き下げながら幌を固定します。



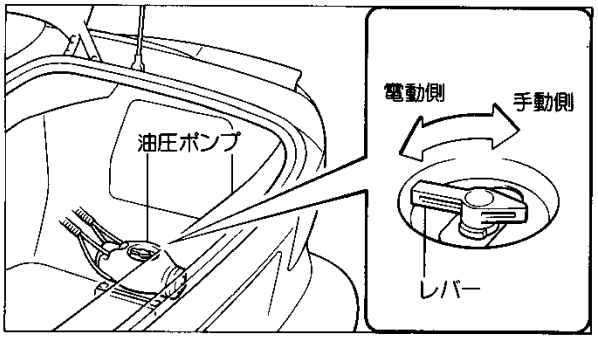
ちょっと一言
幌が確実に固定されたことを確認してください。

6. サンバイザーをもどします。

無断複製禁止

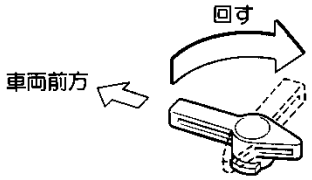
スイッチを押しても作動しないときは

万一、スイッチを押しても幌が動かないときには、トランク右側にある油圧ポンプのレバーを手動側にして、幌を手動で動かしてください。

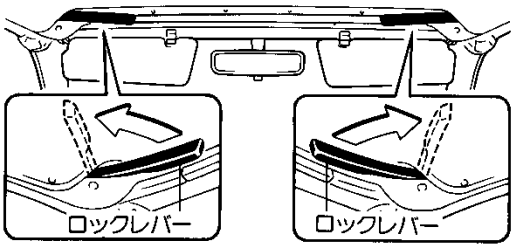


開け方

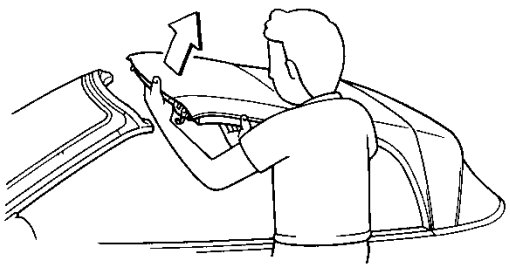
1. フロントドアウインドゥを下げます。
2. リヤサイドウインドゥを下げます。⇨18ページの「パワー(電動)リヤサイドウインドゥ」を参照してください。
3. 油圧ポンプのレバーを手動側にします。



4. 左右のサンバイザーを下げます。
5. ロックレバーを引き、ロックを解除します。

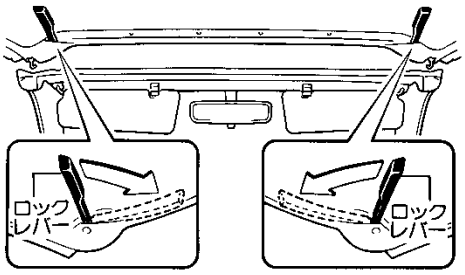


6. 幌枠の中央を持って幌を持ち上げます。

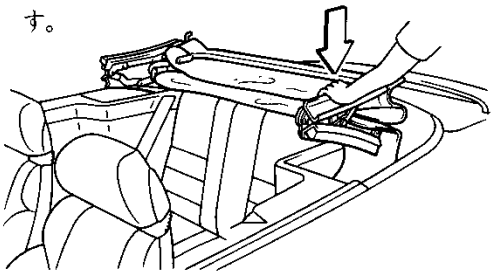


注意! 幌を持ち上げるときは、指をはさまないように注意してください。

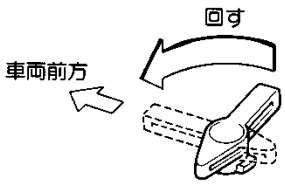
7. 幌を20cmぐらい開けたら、ロックレバーをもどします。



8. 幌が完全に下がるまでゆっくりと後方に押します。



9. 油圧ポンプのレバーを電動側にもどします。

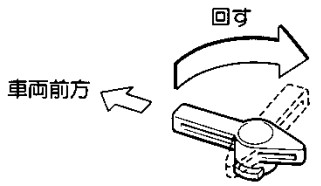


10. 左右のサンバイザーをもどします。

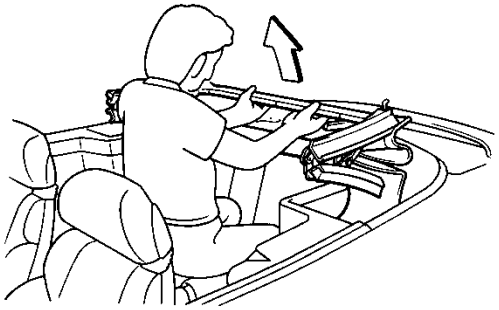
無断複製禁止

閉じ方

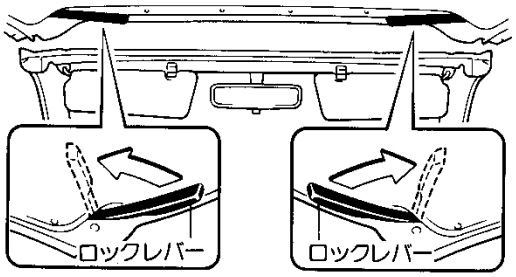
1. フロントドアウインドゥを下げます。
2. リヤサイドウインドゥを下げます。⇨18ページの「**パワー(電動)リヤサイドウインドゥ**」を参照してください。
3. 油圧ポンプのレバーを手動側にします。



4. 左右のサンバイザーを下げます。
5. リヤシートに乗り、幌枠の中央をしっかり持って、ゆっくり幌を持ち上げます。



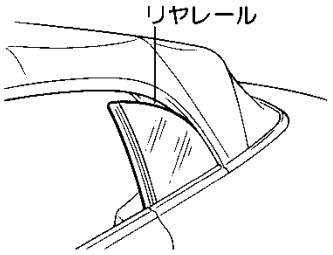
6. 幌を20cmぐらいまで閉じたら、ロックレバーを引き出します。



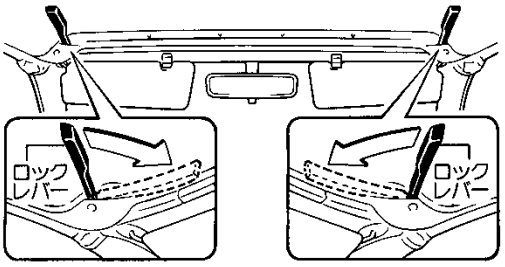
7. 幌がフロントウインドゥガラス上部に触れるまで閉めます。



フロントドアウインドゥ、リヤサイドウインドゥが完全に下がっていないときに幌を閉めると、ウインドゥガラスが幌のリヤレールにはいらないことがあります。この場合は、一度ウインドゥガラスをいっぱい下げてから上げるとリヤレールにはいります。



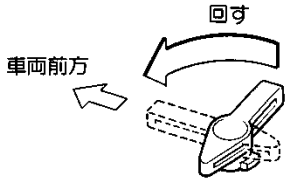
8. フロントシートにすわり、幌の外側前端を持って、フロントウインドゥガラス上部の穴にガイドピンをはめます。
9. ロックレバーで幌の前部を引き下げながら幌を固定します。





幌が確実に固定されたことを確認してください。

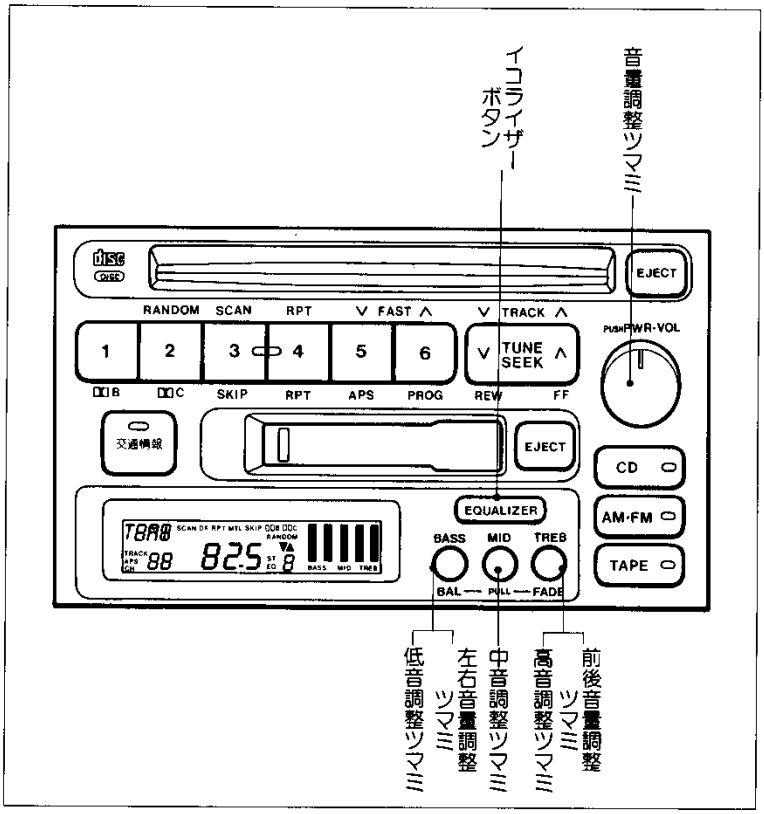
10. サンバイザーをもどします。
11. 油圧ポンプのレバーを電動側にもどします。



無断複製禁止

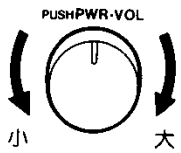
CD、カセット一体 AM/FMラジオ

type G



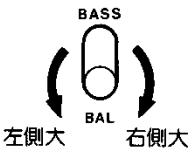
音量調整のしかた

音量



ツマミを押し、とび出した状態からさらに手前に引いて調整します。

左右音量



前後音量



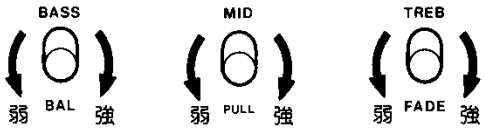
無断複製禁止

音質調整のしかた

手動調整

ツマミを押し、とび出した状態で調整します。

低音　　中音　　高音



イコライザー

あらかじめセットしてある音質が選択できます。

新車時には表のようにセットしてあります。

イコライザーボタンを押すごとに音質がかわります。

表示と働き

表　示	働　　き
EQ1	強調はされません。(フラット)
EQ2	低音と高音が強調されます。
EQ3	低音が強調されます。
EQ4	高音が強調されます。
EQ5	中音域が強調されます。

イコライザーの音質をお好みの音質に記憶しなおすこともできます。

セットするには

1. イコライザーボタンを押して、記憶させたい表示にします。
2. 調整ツマミでお好みの音質にします。
3. イコライザーボタンをピッという音がするまで押し続けます。

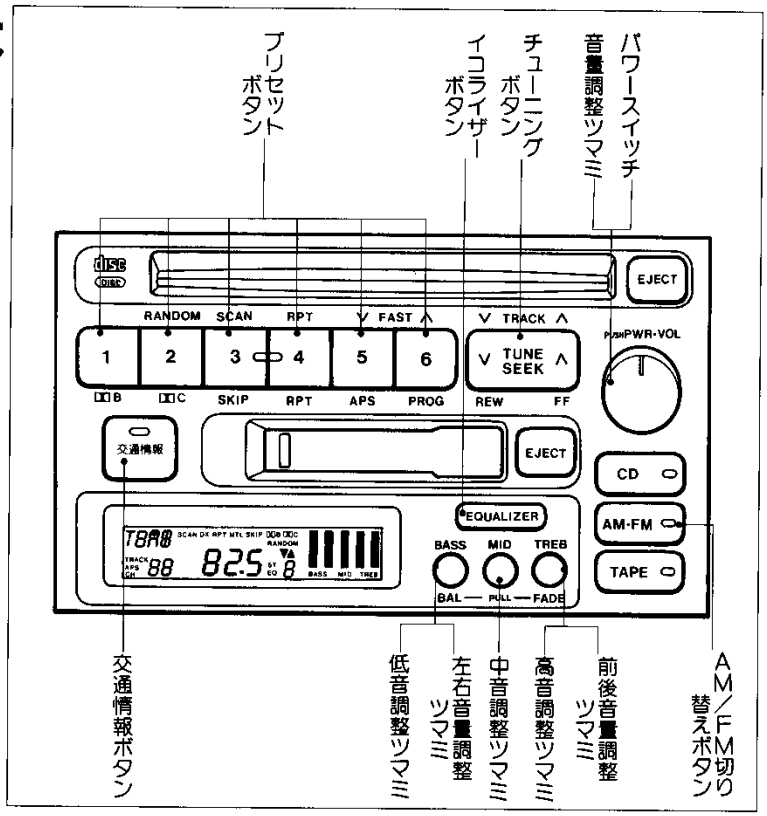
新車時のセット状態にもどすには

1. イコライザーボタンを押して、もどしたい表示にします。
2. イコライザーボタンをピッという音が2回(1回目は約2秒、2回目はさらに約8秒) するまで押し続けます。

   すべてのモードをもどすにはさらにピッという音がするまで（約10秒）押し続けます。

無断複製禁止

ラジオを聞くには



ラジオを聞くには

1 エンジンスイッチをONまたはACCにします。

2 AM/FM切り替えボタンを押して、AMまたはFM(1または2)放送の選択をします。

3 チューニングボタンまたはプリセットボタンを押して選局します。

ラジオをとめるには

パワースイッチを押します。

もう一度押すと受信されます。

無断複製禁止

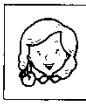
選局をするには

自動選局をするには

チューニングボタンをピッという音がするまで押し続けます。

- 高い方へ選局するときは∧側
- 低い方へ選局するときは∨側

もう一度押すと解除されます。



受信電波が弱く自動選局できないときは手動で選局してください。

手動選局をするには

チューニングボタンを押します。

- 高い方へ選局するときは∧側
- 低い方へ選局するときは∨側

放送局を記憶させるには

プリセットボタン1～6に希望の放送局を記憶させることができます。

1 チューニングボタンで記憶させたい放送局にあわせます。

2 プリセットボタンをピッという音がするまで押し続けます。



プリセットボタン1つにつきAM1局、FM2局の3局を記憶させることができます。

交通情報を聞くには

交通情報放送を行っている地域で交通情報受信専用のボタンとして使用できます。

交通情報を聞くには

交通情報ボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。



新車時には1620kHzにセットしてあります。

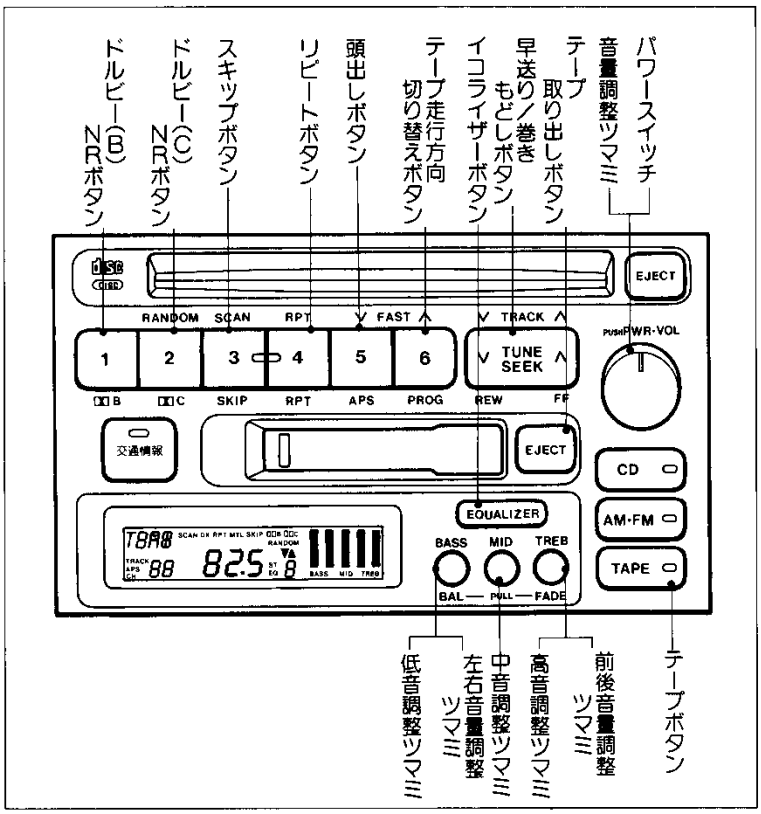
セットするには

1 チューニングボタンで記憶させたい交通情報局にあわせます。

2 交通情報ボタンをピッという音がするまで押し続けます。

無断複製禁止

テープを聞くには

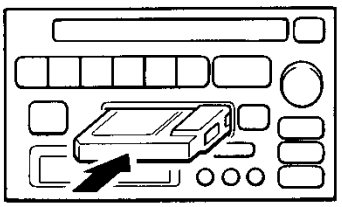


テープを聞くには

1 エンジンスイッチをONまたはACCにします。

2 テープ差し込み口にテープを差し込みます。

テープが差し込まれているときは、テープボタンを押します。



テープをとめるには

パワースイッチを押します。

もう一度押すと再生されます。

テープを取り出すには

テープ取り出しボタンを押します。

テープが自動的に押し出されます。

ドルビー(B)NRボタンまたは(C)NRボタンについて

ドルビー※(B)NRまたは(C)NRで録音されたテープを使用するときは、ドルビー(B)NRボタンまたは(C)NRボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。

※ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBYおよびダブルD記号 DD は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です。



- ドルビー(B)NRとドルビー(C)NRは同時に使用できません。
- ドルビー(B)NRは高音域、ドルビー(C)NRは中高音域の雑音低減効果があります。

無断複製禁止

テープの走行方向をかえるには

テープ走行方向切り替えボタンを押します。

早送り、巻きもどしをするには

早送り／巻きもどしボタンを押します。

- ●早送りをするときはＦＦ側
- ●巻きもどしをするときはREW側

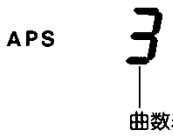
解除するときはもう一度押すか、テープボタンを押します。

頭出しをするには(自動選曲)

いまお聞きになっている曲の前後９曲の中から希望曲の頭出しができます。

1 頭出しをしたい曲までの曲数だけ（３曲目の場合は３回）頭出しボタンを押します。

巻きもどしのときは、いまお聞きになっている曲も曲数に含まれます。



2 早送り／巻きもどしボタンを押します。

- ●早送りをするときはＦＦ側
- ●巻きもどしをするときはREW側

解除するときはもう一度押すか、テープボタンを押します。



次の場合は正常に作動しないことがあります。

- ●曲と曲の間の無音部分が約３秒以下のとき
- ●曲と曲の間に雑音があるとき

同じ曲を繰り返して聞くには

リピートボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。



次の場合は正常に作動しないことがあります。

- ●曲と曲の間の無音部分が約３秒以下のとき
- ●曲と曲の間に雑音があるとき

無音部分をとばして聞くには

スキップボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。

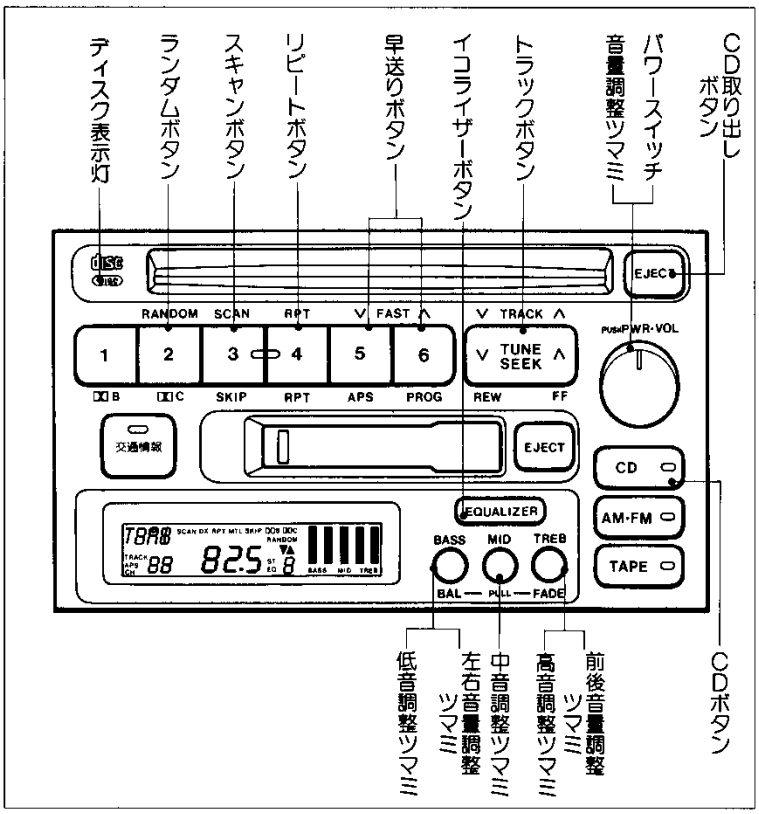


次の場合は正常に作動しないことがあります。

- ●曲と曲の間の無音部分が約15秒以下のとき
- ●曲と曲の間に雑音があるとき
- ●曲の始めと終わりが明確でないとき

無断複製禁止

CDを聞くには

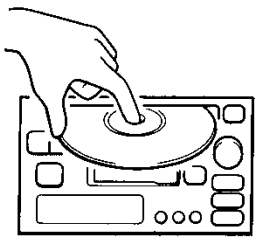


CDを聞くには

1 エンジンスイッチをONまたはACCにします。

2 CD差し込み口にCDを差し込みます。

CDが差し込まれているときは、CDボタンを押します。



中心の穴と端をはさんで持ち、ラベル面を上にします。

CDをとめるには

パワースイッチを押します。

もう一度押すと再生されます。

CDを取り出すには

CD取り出しボタンを押します。

CDが自動的に押し出されます。

早送りをするには

早送りボタンを押します。

- 進めるときは∧側
- もどすときは∨側

手を離すと、その位置から再生を始めます。

無断複製禁止

スキャンボタンについて

曲の始めの部分を約10秒間つぎつぎに再生します。

1 スキャンボタンを押します。

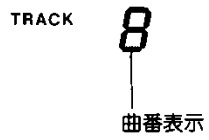
2 希望曲になったらもう一度スキャンボタンを押します。

その曲の再生を続けます。

頭出しをするには(自動選曲)

トラックボタンを押して希望の曲番を選びます。

- うしろにあるときは∧側
- 前にあるときは∨側



同じ曲を繰り返して聞くには

リピートボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。

ランダムボタンについて

ＣＤの中からランダムに選曲し、再生します。

ランダムボタンを押します。

もう一度押すと解除されます。

処置

プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が停止します。
この場合次の処置をしてください。

- ディスク表示灯が赤く点灯していないときは、CDボタンを押してください。
- ディスク表示灯が赤く点灯しているときは、内部の温度が異常上昇していますので、CD取り出しボタンを押してCDを取り出し、ディスク表示灯が消えるまでお待ちください。正常に復帰するとディスク表示灯が消えますので、再度CDを差し込んでください。

以上の操作をしても、機能が停止しているときはトヨタ販売店で点検を受けてください。

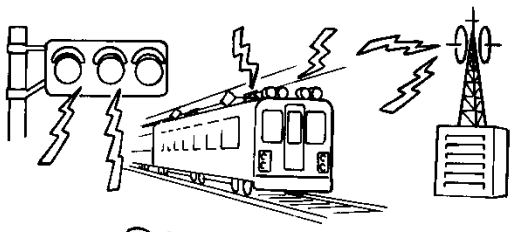
8㎝ＣＤを使用するときはアダプターを使用しないでください。

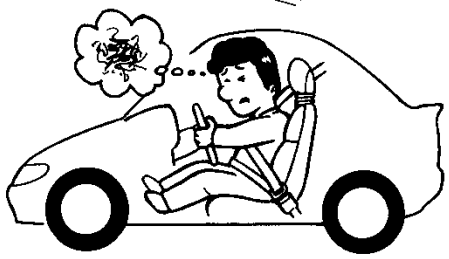
無断複製禁止

オーディオの上手な使い方

安全運転をさまたげないように
適度な音量でお聞きください。

ラジオ

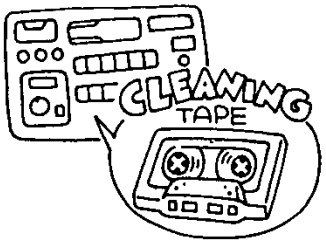




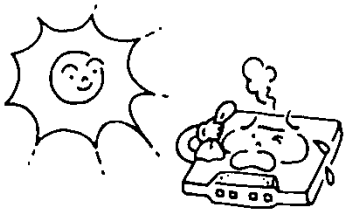
●ラジオの受信は、アンテナの位置が刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。

カセット

●ヘッド周辺部（ヘッド、キャプスタン、ピンチローラー）はよごれやすいので１カ月に１回程度はクリーニングテープでクリーニングしてください。



●カセットテープは直射日光をさけ、必ずケースにいれて保管してください。



●120分テープは、使用しないでください。テープが非常に薄いためカセットデッキに巻き込むおそれがあります。



●カセットテープのラベルがはがれかけていたり、ネームテープが貼ってあるカセットテープを使用すると、回転不良やカセットテープを取り出せなくなる場合があります。



無断複製禁止

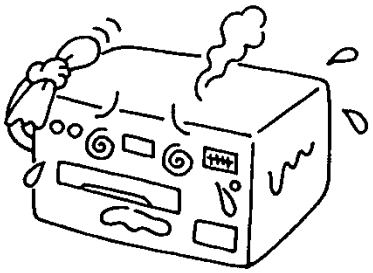
CD

●このプレーヤーは、下のマークのついたCD以外は使用できません。



●8cmCDを使用するときは、アダプターを使用しないでください。

●寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、プレーヤー内部にも露(水滴)が生ずることがあります。この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。



●悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。

●CDは直射日光をさけ、必ずケースにいれて保管してください。



●CDをイジェクト状態のまま長時間放置しないでください。そりの原因になります。

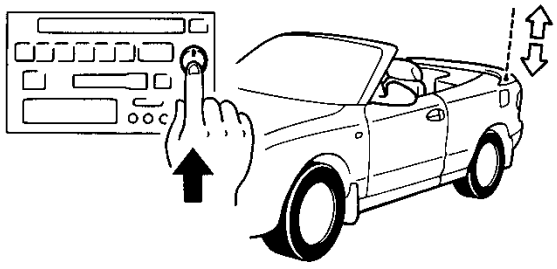
アンテナについて

電動式

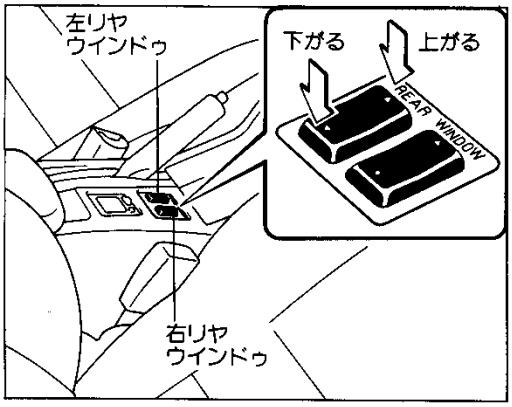
ラジオの電源がはいると上昇し、電源が切れると下降収納されます。



ラジオの電源をいれるときやエンジンをかけるときは、アンテナ周囲の安全を確認してから行ってください。



無断複製禁止



パワー(電動)リヤサイドウインドゥ

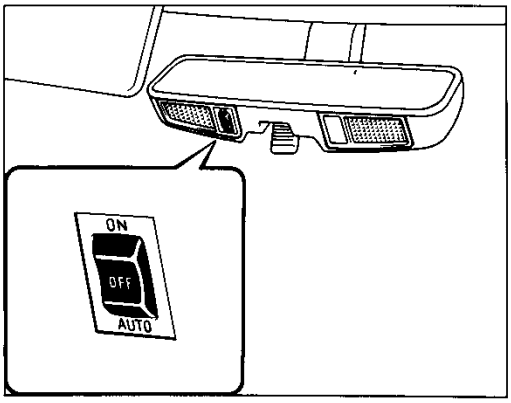

ちょっと一言

1. ウインドゥガラスの開閉は、バッテリーあがりを防ぐため、エンジンがかかっているときに行ってください。
2. 3つ以上のウインドゥの開閉を同時に行うことはさけてください。

■リヤサイドウインドゥの開閉

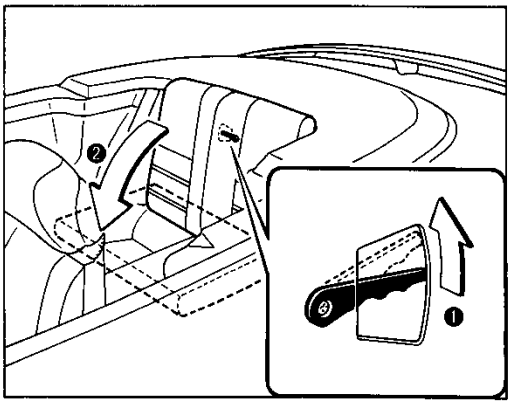
エンジンスイッチがONのときに使用できます。

- スイッチのうしろ側を押すと開き、前側を押すと閉じます。
- スイッチから手を離すと、ウインドゥガラスの動きは、その位置で停止します。



室内灯

- スイッチの前側を押すと、ドアを開けたときに点灯し、閉じると消灯します。
- スイッチのうしろ側を押すと、ドアの開閉に関係なく点灯します。
- スイッチを中立の位置にすると点灯しません。



リヤシート

背もたれを前方に倒すことができます。

▶倒し方

❶レバーを引き上げ❷背もたれを倒します。

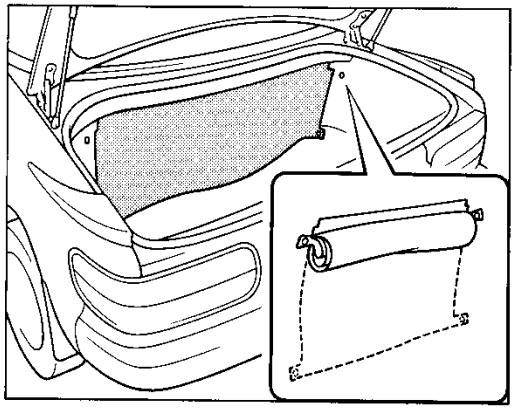
▶起こし方

背もたれを起こして、うしろに押えつけると自動的に固定されます。背もたれを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認します。


注意！

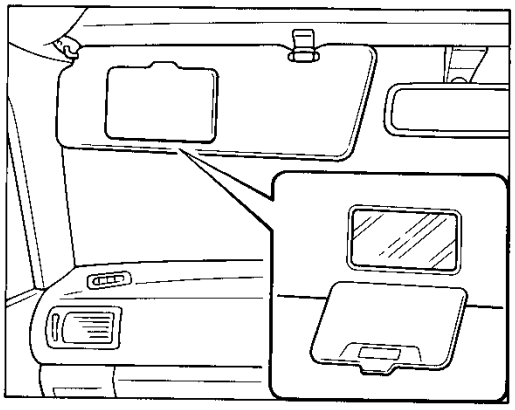
フロントシートの背もたれより高く荷物を積まないでください。ブレーキを踏んだときに荷物がすべり落ちて危険です。

無断複製禁止



トランクインナーカバー

カバーを開けることもできます。通常はカバーを下げておいてください。



バニティーミラー(化粧ミラー)

運転席および助手席サンバイザーの裏面についています。使用しないときは閉じておいてください。

無断複製禁止

⑳ 車の手入れ

■幌、リヤウインドウの手入れ

1.十分水をかけながら、スポンジや布でよごれを洗い落とします。

2.よごれのひどいときは、トヨタ純正カーシャンプーを使用します。カーシャンプーを使用したあとは水で十分洗い流してください。



1.自動洗車機、高圧洗車機は使用しないでください。幌およびリヤウインドウを破損するおそれがあります。

2.リヤウインドウは、塩化ビニール製です。傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。

3.漂白剤、シンナー、アルコールなどの薬剤や溶剤は使用しないでください。

無断複製禁止

装備一覧表

本書以外の取り扱い方法はセリカ取扱書のGT-Rをご覧ください。
なお、一部装備についてはGT-Rと異なりますので次の表を参照してください。
○：標準装備　△：注文装備　—：設定なし

装　備	GT−R	Convertible	type G
パワー(電動)サイドサポート	○	—	—
パワー(電動)ランバーサポート	○	—	—
リヤワイパー & ウォッシャースイッチ	○	—	—
超音波雨滴除去ミラースイッチ	△	—	—
リヤウインドゥデフォッガー(曇り取り)スイッチ	○	—	—
断線警告灯	○	—	—
クルーズコントロール(自動定速走行装置)	△	—	○
電子制御サスペンション(ＴＥＭＳ)	△	—	—
４輪ＡＢＳ	△	—	○
４輪操舵システム(4WS)	△ ※	○	○
ＳＲＳエアバッグ	△	—	○
本皮革シート	—	—	○

※　装着車あり

無断複製禁止

森林資源保護のため再生紙を使用いたしました。

トヨタ自動車株式会社　お客様相談センター

お問い合わせ、ご相談は
右記へお願いいたします。

全国共通・フリーダイヤル 0120-462000
〔上記フリーダイヤルにて通話できない場合
〈自動車電話・公衆電話（赤・ピンク）等〉は、
052(952)3333をご利用ください。〕

所在地　〒461 名古屋市東区泉一丁目23の22

トヨタ自動車株式会社

●車両の仕様等の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください。
●印刷　NA－1992年5月22日　●発行－1991年8月7日　初版（非売品）
1992年5月29日　2版

M20122
01999－20122
無断複製禁止